



狛江市議会議員

2016. 4・7

山本あき子の議会報告

<http://yamamotoakiko.seikatsusha.me/>

3月議会一般質問

◇LGBT～

多様性を認め合う社会の実現を目指して

人権課題としてのLGBTへの認識を質した。同性パートナーシップ証明書の発行やレインボーフラッグ掲揚を希望する。学校生活における様々な配慮や多様性を認め合う人権教育にも力を注ぐべき。狛江市がLGBTフレンドリーなまちになるために「見えない」当事者を「見えない」という理由で無視するのではなく支援と共生の姿勢を行政として「見せる」為の具体的な取組を要望した。

☆LGBT レインボー相談☆

○みんなと違う?と感じたら…

○性の事で悩んだら…

○ふつうじゃない?と思ったら…

安心できる場所で自分の気持ちを話してみませんか?

狛江にじいろ未来会議はありのままの
あなたを応援します。

「狛江にじいろ未来会議」

電話予約 03-3430-1302

◇狛江市が目指す地域包括システムと総合事業

2017年4月から始まる総合事業において現在要支援1・2の認定がどのように変化するか質した。市内調査によって訪問介護利用者の約7割、通所介護利用者の約4割がサービスA及びサービスBへ移行する見込みとの答弁。住民主体のボランティアによる訪問及び通所型サービスB運営団体へ適切な支援を行い活動を広げていく必要がある。総合事業の背景が理解され、これから迎える2025年問題に保険者である市と市民が一丸となって準備するプロセスが大切である。

予算特別委員会

予算特別委員会は3月15日～17日の3日間開催され、議長を除く全議員が一人60分の持ち時間で審議した。狛江・生活者ネットワークは一般会計では以下のように一般会計予算に賛成した。

○予算討論の主なポイント

保育行政では事業者間の関係の構築により課題の共有や解決を図り保育の質を担保することが重要だ。地域包括ケアシステムの推進は横断的な連携により市内の活動や人材の活用を求める。市の歴史的資源や生産緑地保全のための都市計画決定が行われた。引き続き農地や樹林地の計画的配置を要望する。都市農業推進基本法にあるように農地が持つ多面的な機能を狛江の新たな魅力に繋げてほしい。市民農園の福祉区画は様々な視点を集約し、障がい者の自立支援の為に拡充を要望する。生活幹線道路である八幡通りは市民・住民が市と共に調査を重ね、整備基本計画の策定に至っている。都の都市計画道路であっても狛江のまちづくりの観点で計画を検証すべきだ。防犯カメラの設置は運用と情報開示の条件を市民に知らせること。狛江駅南口駐輪施設の現状改善と拡充を要望する。ひきこもりなど課題を抱えた若者と家族への支援とその周知を求める。

日本でも数少ない常設型プレーパークが開園した。子どもを自然の中でのびのび育てたいという市民の思いから発した運動が新しいコミュニティや多世代の居場所を作り出す推進力となった。こうした市民協働の実績を今後の市政に活かして欲しい。

狛江・生活者ネットワーク

狛江市東和泉 1-1-25-101

TEL 03-3430-1302 fax 03-5761-0678

E-mail

komanet.seikatusya@nifty.com